

3年 進路だより

第6号 (1)

平成 24 年 7 月 6 日 (金) 発行

第1回進路説明会・Q&A (その2)

単願・併願・推薦などの受験制度に関わる質問

- Q：単願、併願、推薦の意味がよくわからない。
Q：推薦とかがよくわからない。
Q：併願Bと、併願一般の違いがあまりわからなかった。
Q：単願で不合格の場合はどうなるのか。

私立高校の入試制度に関する質問です

A：『進路説明会資料』13ページで説明してあります。限られた時間内での解説でしたので、集中して聞いていないと理解しづらい面があったかもしれません。改めて解説させていただきます。

◎ まず、私立高校の入試制度と大きな点で異なっている、**公立高校入試**での選抜の原則は、以下の通りです

- 公立高校は、合格したら入学することを前提として受検しますので、合格後の入学辞退はあり得ません。
- したがって、公立高校は募集人員と同じだけの合格者を出します。3クラス 120 人の募集に対して 121 人が出願したら、必ず 1 人不合格になります。
- 公立高校では、推薦制度はなくなりました。すべての受検生が同じ条件で、同じ日時に、同じ試験問題で学力検査に臨みます。もちろん、単願や併願という制度也没有ありません。
- 公立高校の入試では、公正・公平であることが最も重要です。したがって、説明会で事前に可否可能性などを相談しても『頑張ってください。』程度の答えしかもらえません。
- また、公立高校では個々の学校や年度によって志願者(受検者)数が大きく増減することがあります。この場合、いわゆる**偏差値によるランク付けや可否予想**が大きく外れることも珍しくありません。

◎ 多くの私立高校が受験生を選抜するときは以下のように行っています。

- ① 私立高校は、独自の教育理念・校風を持つことが多いので、その学校の**教育方針を熟知し理解した上で、強く入学を希望する生徒**を優先的に入学させたい。
- ② 私立高校では、合格しても入学しない受験生が多い。
(例) 埼玉県で昨年度、かなり多くの受験生が志願した県南の**私立A高校(普通科)**の受験状況
募集人員 800人 受験者総数 4520人 合格者 4441人
入学手続数 813人(18.3%) 入学者 806人
- ③ 実際の入学者数は、募集人員からの増減が多少あっても許される。
- ④ したがって、募集人員(入学させたい人数)の5倍以上を合格させる。
- ⑤ 入学者数を確保したいので、確実に入学する(第一希望として受験 or 他の高校を受験しない)のなら、多少『入試の得点』が低くても合格させる高校もある。(これが、単願という制度になります。)
- ⑥ 入学者の数だけでなく、成績についても一定の水準を確保したい。

これらのことを踏まえた上で、私立高校の単願・併願・推薦・一般併願等について解説します。

単願(単願推薦)：

〔上記①⑤⑥の理由から、その学校を第1志望としている生徒に対し、**個別相談・事前相談**を行って、志望の意欲・熱意、1 学期通知票の成績・英検や漢検などの資格・出欠席や業者テストの結果などから『**一定の基準**』を満たしている生徒について、**単願推薦**での受験を認める方法〕

通知票の成績が基準に達せず、**中学校長推薦**にならない場合でも**自己推薦**や**保護者推薦**として**単願推薦**受験が可能になる学校もあります。

上記**私立 A 高校(普通科)**では、昨年度単願の募集人員は 400 名、単願推薦での受験者が 375 名、合格者は 372 名でした。※ 個別相談で単願推薦での受験が認められても、結果は不合格になることもあります。昨年度、**A 高校**では、**375 名中 3 名が不合格だった**ということですね。

また学校によっては、公開されている推薦基準を満たしてさえいれば人数制限なしで単願推薦受験を認める学校もあります。 県北部の**B 高校(大学附属高)**では、成績基準を満たして推薦(単願)受験が認められた者 380 名に対し、合格者は 160 名でした。

単願で不合格の場合についての質問ですが、前述の**B 高校**のような学校を**単願推薦(第一希望)**受験するときは、当然第 2 志望・第 3 志望の学校も受験しておくべきでしょう。また、例にあげた**A 高校**を**単願推薦**で受験し不合格となったとしたら・・・まだ県公立高校の出願に間に合うので、至急に三者面談を行って公立高校を受検することになると思います。場合によっては他の私立高校の一般入試の出願に間に合うこともあります。いずれにせよ、単願で不合格になったからといって進学する道がすべて閉ざされてしまうわけではありません。

併願(併願推薦)：

〔単願推薦と同じように、**個別相談・事前相談**を行って、志望の意欲・熱意，1 学期通知票の成績・英検や漢検などの資格・出欠席や業者テストの結果などから『**一定の基準**』を満たしている生徒について、**推薦**受験への出願を認める方法です。しかし併願推薦では他校との併願も可能なので、合格しても「必ず入学しなければいけない」ということではありません。〕

前述の**私立 A 高校(普通科)**で昨年度の併願受験者に限って言えば、合格者の中から実際に入学手続きを行った者は約 10 %でした。高校にしてみれば、合格しても実際に入学するかどうか分からないので、『**併願推薦での受験を認める基準**』は**単願**よりも多少厳しく(高く)なるのが一般的です。

単願推薦・併願推薦、どちらにしても**個別相談**に参加するのが基本ですが、殆どの私立高校では 9 月～ 12 月に『**個別相談会**』を実施しています。その前に、是非『**学校見学**』『**体験入学**』に参加し自分の目で学校の様子を見て下さい。

また、学校によっては単願推薦や併願推薦のことを**A 推薦・B 推薦**と言ったり、**推薦Ⅰ・推薦Ⅱ**と言ったりします。ところが、別の高校では全く違った意味で**A 推薦・B 推薦・推薦Ⅰ・推薦Ⅱ**と呼ぶこともあるので、受験校の候補が決まったら、募集要項等で確認して下さい。

一般併願というのは、まったく**個別相談・事前相談**を行わずに受験するか、または、基準に達しないために推薦扱いにならない受験のことで、一般的には入試本番でかなり高い得点を取ることが要求されます。

Q：通知票は一学期までなのか、それとも二学期まで関係するのか。

Q：通知票は 3 年の三学期まで入るのか。

A：これは受験(受検)に際して高校に送る『**調査書**』に関連してのことだと思いますので、その意味でお答えします。調査書を作るときには、1・2 年生の成績としては 3 学期の通知票に記録されている『**学年の成績**』を記載し、3 年生の成績としては、『1・2 学期の成績を基にした調査書用の成績』を出します。作成した『**調査書**』は 2 学期の学期末に『**通知書**』として保護者に開示します。

3 学期の成績は、受験(受検)のための『**調査書**』には加味されませんが、実際に入学が決まった上級学校に『**中学校での記録の写し**』という形で送られ、入学後のクラス分けや指導に使われます。また、『**調査書**』に関係しないという意識から 3 学期の授業に真剣に取り組めない生徒がたまにいますが、3 月まで緊張感を保たないと本番の結果が厳しいものになりますよ。

第1回進路説明会・Q&A (その2の続き)

Q：具体的な偏差値を出して欲しい（埼玉県公立）。それぞれの学校の長所・短所・その学校の在校生の話を聞けるとありがたい。

A：Q7～Q11への返答の中で『公立高校入試での選抜の原則』を記しましたが、公立高校では『偏差値〇〇以上を合格させます。〇〇未満は不合格です。』などと指定することは不可能です。あくまでもその年毎の受験する中学生の集まり具合（倍率や受験する生徒の集団のレベル？）で結果的に難易度ができます。受験雑誌などに『S高校の偏差値は58』と記載されていても、それは『ここ数年の受験結果を（自分の会社で得たデータで）分析してみたら、模擬試験で偏差値58位の生徒は合格しています。』ということに過ぎません。また、10月の模擬試験で偏差値58（＝平均より少し良い）という成績が、3月までそのまま維持できるか？、それともそれ以上に伸びる可能性は？・・・ということで、偏差値も無視はできないかもしれませんが、それよりも高校の中身を調べる努力をしてもらいたいと思います。

また、学校の長所・短所を知りたいということですが、これこそ是非、自分自身で見学し体験し、肌で感じ取って来て下さい。来る7月19日に『進路講演会』ということで高校生（尾間木中卒業生）の話を聞く会を持ちますが、限られた時間内に多くの卒業生に来てもらうことも出来ません。話してもらうのは2人だけです。近所のお兄さん・お姉さん・部活の先輩・親戚・知人、あらゆるつてを頼って自分自身で情報を集める努力をして下さい。

Q：漢検・英検・特別活動はどのくらい加点されますか。

A：学校によって大きく違います。昨年度、ある学校では英検4級でも加点されましたが、別の学校では英検2級以上を取得していないと加点対象になりませんでした。近い時期に【埼玉県高校教育指導課】のホームページで公表される【埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準】を見て下さい。

Q：業者テストは、毎回受けた方がいいか？。

A：特定の業者が行う模擬試験について公的な学校の職員である私たちが善し悪しをいうことはどうでしょうか？現状について言えば、今のシステムでは私立高校に個別相談に行くとき資料として役に立ちます。公立高校の受験に関しては、可否を予想する目安にはなりません。また、スポーツでも大会でいきなり試合を経験するのではなく、何回か練習試合をやって大会に臨むのではないのでしょうか。自分の力を知って伸ばして行くための参考等の観点から判断して下さい。

Q：学力テストの一次・二次、「5：5」・「4：6」・「6：4」とかのところが全体的に進みが速くて、内容がしっかりとは分らなかった。

A：学力検査と調査書の比率が「5：5」というのは、文字どおり同じ比率で加算するという事です。また、

学力検査と調査書の比率が「4：6」というのは調査書を重視して加算し、比率が「6：4」というのは学力検査（＝入試の得点）を重視して加算するということです。詳しくは、【埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準】を見て下さい。

高校説明会・体験入学など

(私)日本音楽高校 サマーミニコンサート 7月21日(土) 13:00～
学校説明会 7月28日(土) 10:00～
体験入学 8月3日(金)・8月21日(火) 10:00～
学校説明会・バレエコンサート 10月13日(土) 13:00～

参加希望者は、市川先生の所に申し込み用紙があります。前日までにFAXすること。

(県)川越女子高校 第2回学校説明会（於 川越市民会館） 7月25日(木) 10:00～15:00
※受付 9:30～ 事前申し込み不要
問い合わせ先 TEL：049（222）3511 ホームページ <http://www.kawagoejoshi-h.spec.ed.jp/>

(県)越ヶ谷総合技術高校 一日体験入学 第1回 7月26日(木) 9:00～12:00
第2回 8月24日(金) 9:00～12:00
内容の詳細と申し込み方法（個人）は、越ヶ谷総合技術高校ホームページを参照して下さい。 URL <http://www.ksg-h.spec.ed.jp/>

(県)春日部工業高校 体験入学 8月7日(火) 午前の部 8:30～11:45 午後の部 12:30～15:45
実習内容等の詳細は教室掲示を見て下さい。
申し込みは、個人でも春日部工業高校のホームページからできますが、終業式の日までに市川先生に申し込めば尾間木中からFAXで申し込みます。

(県)春日部女子高校 部活動見学会
バレーボール・硬式テニス・ハンドボール・バスケットボール・ソフトテニス・ソフトボール・陸上競技・剣道・卓球・バドミントン・新体操・箏曲・書道・競技かるた、の各部が夏休み中にそれぞれ見学会を計画しています。**日程の詳細は教室掲示**で見て下さい。申し込みは、各自電話またはFAXで行います。

学校見学・体験入学については、事前に申し込んだ場合、絶対に無断欠席をしないで下さい。病気になってしまったりするなどやむを得ない事情で欠席する場合は、必ず保護者の方から相手の学校と中学校に事前に連絡をするようにしてください。学校によっては、中学校を通して『欠席届』を提出しなければならない所もあります。